

崇城大学が Baron G58 を受領

崇城大学は6月17日、双発の操縦訓練機として新たにグラスコクピット (G1000) 搭載のビーチクラフト・ Baron G58 を受領した。

同校は、工学部宇宙航空システム工学科に航空操縦学専攻と航空整備学専攻を設置しており、パイロットと整備士を目指す学生たちおよそ120人が熊本空港に隣接する空港キャンパスで学んでいる。この日、空港キャンパスの操縦学専攻の学生も式典に加わり、消防車の放水アーチとともに新訓練機を盛大に出迎えた。到着した真新しい機体には、「がまだせ熊本!」(がんばるの意味)のロゴと「くまモン」のデカールが施され、熊本地震によって被災した地域の震災復興への願いが込められた。これにより同校は今回受領したG58と従来機のB58を併せ、双発訓練機は3機体制となった。

